



第2駐車場は冬期間閉鎖です

旭山記念公園第2駐車場(門から近い方)は冬期間閉鎖しています。
中央区の除雪車両の基地となるためですが、除雪車両の出入りの妨げとなるため、
入口を塞ぐかたちでの駐車もご遠慮ください。よろしくお願いします。

令和2年は子年・・・エゾリスの年

今年の干支は「ねずみ」。そこで今回は、旭山で最も目にするネズミ、「エゾリス」の話題です。

☆**エゾリス** 蝦夷栗鼠 Hokkaido Squirrel *Sciurus vulgaris orientis* ネズミ目(げっ歯目)リス科リス属
北海道全域の平地から亜高山帯までの森林に生息。普通種。
「木ねずみ」と呼ばれ古くから親しまれています。冬眠はしません。

■エゾリスは「キタリス」の仲間

キタリスはユーラシア大陸北部に広く分布するリスの仲間であり、
エゾリスはその北海道固有の亜種です。つまり、ヨーロッパで見られる
リスとエゾリスは同じ仲間ということになります。

■本州以南のリスとの関係

北海道に生息する哺乳動物は ほとんどが本州以南とは違います。
キツネやシカは「亜種」のレベルでの違いであり、基本は同じ種で、北海道に住むものをそれぞれ亜種名で
「キタキツネ」「エゾシカ」と呼ばれています。

それに対してリス、北海道のエゾリスと本州以南のニホンリスは、外見は非常によく似ているものの「種」の
レベルで違う別の種です。北海道のヒグマと本州以南のツキノワグマもこの例です。

なお、本州の首都圏や関西圏などでは、外来種であるタイワンリスが野生化しており、在来種のホンドリ
スとの軋轢や農業被害などの問題が生じ、環境省から特定外来生物に指定されました。

■旭山にシマリスはいない

北海道にはもう 1 種シマリスが生息しており、円山や藻岩山でも見られますが、旭山ではシマリスの確かな
観察記録がありません。なぜいないのか、詳しいことは分かっていません。

■旭山にいる他の野生のネズミ

旭山では他に、エゾヤチネズミ、エゾヒメネズミ、エゾアカネズミが生息していることが環境調査などから分か
っていますが、その 3 種は姿を見る機会がめったにありません。冬に雪の上に足跡でネズミの存在を知ること
がほとんどです。そしてリス科のエゾモモンガも稀に見られます。

なお「ネズミ」と名がつくものの厳密にはネズミの仲間ではないトガリネズミ目
のオオアシトガリネズミも旭山にいますが、こちらも姿を見ることは稀です。



■耳毛

エゾリスは、冬は耳毛が長く伸びていますが、夏は耳毛がなくなります。

しかし、生まれたばかりの子リスは、最初はおとなと同じように耳毛が短いものの、
少しして、まだ夏の間に耳毛が伸びてきます。

左の写真、どちらも 6 月に撮影したのですが、上はおとな、下はその年
に生まれた子どもです(冬の耳毛が長い写真は上です)。

■旭山記念公園はエゾリスの「名所」

道内一円に広く生息するエゾリスですが、旭山記念公園はエゾリスがよく
見られる場所のひとつです。冬から春の間は日の出から午前 10 時頃まで、
園内西側エリアでほぼ必ず見られ、春から秋も見られない日の方が少ない
くらいです。公園全体で 5~10 匹ほど生息していると思われます。



エゾヤチネズミ、旭山で撮影↓



旭山野鳥メモ ⑪ノスリ

ノスリ Common Buzzard *Buteo japonicus* タカ目タカ科
カラスより大きくトビよりやや小さい、「タカ」とは呼ばれないタカの仲間。
猛禽類の中ではトビに次いで見る機会が多い。

飛翔時、下から見ると全体的に白っぽく、腹の茶色い帯と、翼の
風切り羽の付け根辺りが黒っぽいのが識別ポイント。

旭山ではかつて、春先に1、2週間と秋に時々見られるくらいで
冬には見られなかったが、2017-2018 冬、幼鳥がこの一帯で毎日
のように見られるようになった。

その後は四季を通して成鳥がしばしば見られており、その幼鳥が成長して居ついた可能性が高い。
数年前の秋、ノスリ数羽の「鷹柱」が見られたが、一部南へ渡る個体があり、その途中と考えられる。
ノスリの主食はネズミ。高い空からその眼力でネズミを見つけ、低い位置で追いかけてつかまえる。
カナヘビやヘビ、カエルも食べるが、それほど機敏ではないためか、鳥を捕まえることはあまりない。
表情がおっとりとしたノスリは、オオタカ、ハイタカやハヤブサなどと違い、見ていてあまり緊迫感がない。
しかし、カラ類やエナガは、上空にノスリが来ると、オオタカなどに対するのと同様に甲高い声で警戒する。



1-2月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧ください。森の家までおたずねください。

- ★ヒレンジャク=1月下旬でもまだ見られ、例年より長く滞在しています。
- ★キレンジャク=30羽以上の群れが1月下旬まで見られていました。
- ★イスカ=1月中も時折見られましたがたいい1羽のみでした。
- ★ウソ=鳴き声はよく聞こえ、時々近くで見られます。
- ★キバシリ=見られる機会が多いです。★キクイタダキ=今年は少ないです。
- ★クマゲラ=園内でも時々近くで観察できます。
- ★オオアカゲラ(右写真)=主に雌の個体が毎日のように見られています。
- ★ヤマゲラ=毎日園内どこかで声が聞かれ時々近くで見られます。
- ★シマエナガ=カラマツ林に出ることが多くまた比較的長くそこで餌を取っています。



今年も初日の出は拝めなかった

2020年、令和2年、旭山記念公園、今年も初日の出を拝むことはできませんでした。

未明から雪が強めに降り続き、6時半を過ぎてもやむ気配なし。

空はただ白く明るくなってゆくだけで、赤く染まる部分はどこにもない。

初日の出は拝めないと見切りをつけた人が多く、7時6分の日の出時刻に
は既に帰る人の流れができていました。

2020年元旦の様子(背景は円山)→

結局、藻岩山もまともに見えないほど雪は降り続いていました。

来訪者は100人ほどで例年の半分程度、駐車場も満車にはなったものの、
混雑するというほどではなく、2020年の旭山記念公園はおとなしく始まりました。

旭山では2017年からこれで4年連続初日の出が見られていません。

早くも来年の話、鬼には爆笑されることでしょけれど、来年こそ、初日の出を拝みたいものです。



編集 後記

毎年恒例(?!)、春のキタコブシ開花予想。今年は・・・
キタコブシは、花が咲く冬芽は毛筆のように大きくて長い毛に覆われており、
その「花芽」の数を数えるとその年の春にどれだけ花が咲くかが分かります。
それで今年は・・・花芽が多い! 立春を迎え、春の気分を超先取りです。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第76号 2020(令和2)年2月2日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話011-200-0311(土・日・祝日10時~16時) FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahi-yamai/>